



にしたて

学校教育目標

ふるさとと共にかがやき、
よりよく生きる子どもの育成

～ありがとうを丁寧な言葉と
心を込めた振る舞いで伝えよう～

大館市立西館小学校 大館市比内町笹館字前田野 7 7 番地 (TEL55-0324) 令和 7 年 1 1 月号 (R 7. 1 1. 2 1)

11月はパワーアップの秋

もうすぐ12月。風の冷たさが身にしみる季節になりました。本校でも、インフルエンザが猛威を振るっております。だいぶ落ち着いてきましたが、朝、検温するなど、子どもさんの体調に気を付けるようお願いいたします。

10月14日(火)から11月12日(水)の期間、「あいさつ万博」という企画を実施しました。全校の子どもたちが、楽しく気持ちよく進んであいさつできるようにと、計画委員が企画してくれました。昼のあいさつを様々な国のあいさつで交わすという企画です。楽しそうに、自然に世界のあいさつを交わしてる子どもたちを見ながら、世界に羽ばたく子どもたちの姿を想像していました。あいさつによって、心と心をつなげることができることが実感できた取組でした。

また、学習もとてもよく頑張っています。1年生は漢字、2年生は九九の学習が始まりました。どちらも、おうちの方の協力がなくては、定着を図ることができません。学校では、子どもたちが楽しく繰り返し学べるように工夫しています。「トイレに入ったら、九九を唱える」「お風呂で漢字を空書きする」など、各家庭でも楽しく学びを深めていただきたいと思います。

3、4年生は11月28日に比内支援学校の子どもたちを西館小に招いて交流があります。楽しい交流会になるように、準備に力が入っています。誰かのために、自分の力を発揮する喜びを感じてほしいです。

5、6年生は、株式会社プロジェクトにおいて、スイーツ販売を頑張りました。パッケージデザインや接客の学習を経ての販売活動でした。とても、さわやかな接客をしている、とお褒めの言葉もいただきました。販売にあたりましては、地域の方々にもたくさん買っていただきました。本当にありがとうございました。

また、5、6年生は、ものづくり・板金体験を実施しました。板金の技術について、ほとんどの子どもがはじめて知ったのですが、ものづくりマイスターの方に、丁寧に指導していただき、銅板の筋彫り体験をしました。世界に一つだけの貴重な作品が完成し、「僕の宝物にする」と言って大満足していました。

学校の中での学びも、とても大切なのですが、外部講師の方を招いての学習や学校外での学習は、子どもたちにとってとても大きな経験となります。子どもハローワークの活動も時々紹介していますが、貴重な体験ができる企画がたくさんあります。大館のすごい！を見つけたり、体験することで、自分の将来を見つめるきっかけにもなります。人としての成長にも結び付きます。子どもたちは、学校外の活動に一人で参加することに抵抗感を示すのですが、どんどん学校外での活動に参加し、自分をパワーアップ、自分磨きをしてほしいと思います。冬休みに向けて、大館市の子どもハローワークの募集も来ております。お子さんと相談してみただけでないでしょうか。よろしく願いいたします。

(校長 田山 律子)



自分の走りを出し切ったマラソン記録会

10月21(火)に全校マラソン記録会を行いました。天気は曇りと気温の低い中での記録会でありました。でも西館っ子の元気な走りで寒さを吹き飛ばし、出場した全員が完走することができました。寒い中、応援してくださった保護者や地域の皆様から感謝申し上げます。心温まる応援をありがとうございました。



ものづくり体験【銅板加工制作】

11月11日(火)に、ものづくりマイスター4人の方を講師に、5・6年生が銅板を加工する板金体験をしました。自分が選んだ文字を銅板にデザインして丁寧に作品を仕上げていきました。どの作品も味のあるオリジナルの作品が完成し、子どもたちも満足そうな表情でした。新たな自分の力の発見につながる、貴重な体験をすることができました。



西館株式会社 スイーツ販売 大盛況！

10月31日は6年生がとっと館で、11月12日は5年生と6年生が協力して、いとくショッピングセンターで、子ども達が考案したスイーツを販売しました。両日も、順調に売り上げを伸ばし、予定よりも早く完売するほどの好調な売れ行きでした。子ども達は、お客様に心を込め、丁寧な言葉遣いで接する大切さを学びました。この心を込めた振る舞いを、西館っ子の財産にしてほしいです。

